



140人が取材に挑戦 安慶田中で出前講座

琉球新報記者による出前講座「おでかけリゅうPON!」が7日、沖縄市立安慶田中学校（島袋盛吉校長、全校児童数388人）で行われ、3年生140人が参加した。写真。新聞の仕組みなどを学んだ後、二人一組で取材し合い、記事を書き上げるワークショップに取り組んだ。

NIE推進室の大城三太記者が「相手の気持ちに寄り添いながら取材することが大事」と伝え、佐藤ひろこ記者が新聞の仕組みを説明した。

講師の話聞いた新垣美



生さんは「読む人にしっかり情報を伝える記者の仕事について学ぶことができた」と実感を込めた。ワークショップに取り組んだ與座聖児君は「相手の話を聞き出す取材体験が楽しかった」と話した。また伊集樹君は「新聞は情報量が多いけど、見出し読みで効率的に読めることを知った」と刺激を受けた様子だった。